

第1回 杏林大学大学院保健学研究科講演会

東日本大震災に学ぶ被災地支援のあり方 ～地域保健の視点から～

演者: 杏林大学保健学部看護学科教授 大木幸子

日時 11月10日(木) 18時～19時

場所 杏林大学 三鷹キャンパス 大学院講堂

宮城県気仙沼市を定期的に訪れ、支援活動にかかわってきました。

3.11が被災地にもたらした想像を絶する喪失の体験。幾多の厳しい困難に直面する被災者に中長期にわたる課題への支援が求められる中で、「被災者の当事者性」、「活動の持続性」や「コミュニティのエンパワメント」を手掛かりに災害時支援のありようを考えたいと思います。

多くの皆様のご聴講をお待ちしています。

